まほろん通信

2022 秋号 VOL.85

Fukushima Cultural Property Center Shirakawa since2001

石川新館長就任あいさつ
館長就任にあたって

みどころ紹介
令和４年度指定文化財展
「ふくしまの上古刀」

まほろん感謝デー・移動水族館　アクアラバン
まほろんぬりえコンクール

アンケート結果発表!!
「あつまれ！縄文どうぶつの森」

まほろんおしごと紹介　Part2 総務

まほろんでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組んでいます。
特に体験活動については、職員との接触や近距離での活動を控えております。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

新館長 就任あいさつ

館長就任にあたって

館長　石川　日出志

プロフィール

≪出　　身≫
昭和 29(1954) 年生まれ　67 才　新潟県出身
≪略　　歴≫
明治大学文学部考古学科卒業
同大学大学院文学研究科博士課程中退　文学修士
現在、明治大学文学部教授
福島県文化財センター白河館館長、
公益財団法人福島県文化振興財団副理事長を兼務
≪主な著作≫
『農耕社会の成立』岩波新書　2010 年
『「弥生時代」の発見　弥生町遺跡』新泉社　2008 年
『考古資料大観1 弥生・古墳時代 土器Ⅰ』(共編)
小学館　2003 年

〇天王山式土器（能登遺跡出土）

本年 6 月 28 日付で<まほろん>の館長を仰せつかりました。明治大学の考古学の専任教授を務めております。自己紹介を含めて、ひとことご挨拶を申し上げます。

いま振り返ると、私は福島県域の歴史・文化と考古学の蓄積に導かれてきたのだという感慨を覚えます。まほろん館長のお話をいただいた時に、まことに光栄と感じるだけでなく、心の底から喜びに似た感覚を覚えたのはそのためであろうと思います。

私は、会津地区の阿賀川・只見川が西方の新潟県域に流れ下り，平野部に出たそのすぐ北側にある阿賀野市 (旧水原町）で生まれ育ちました。小学校 6 年時の修学旅行は鶴ヶ城・飯盛山・裏磐梯・野口英世記念館をめぐるものでしたし、曾祖父・祖父・父は数年おきに西会津町の大山祇神社に詣っていましたから､会津の文化圏の西端で育ったことになります。高校 2 年生の時に村上市滝ノ前遺跡の発掘調査に参加して、そこで出土した土器を水洗いすると鮮やかな文様が現れたので、先生に導かれて『 日本考古学講座4』を調べ、白河市天王山遺跡出土土器を標準とする弥生時代の「 天王山式」と呼ばれる土器型式であることを知りました。その瞬間に、私は考古学の世界におちいりました。

〇企画展「U15 の考古学」見学風景

やがて明治大学に進んで本格的に縄文･弥生時代を学ぶようになると、学びの目標は福島県の考古学でした。新潟県北部の遺跡で発見される遺物や遺構が福島方面ともっとも関係が深いだけでなく、福島県の考古学研究が高い水準にあり、それを学ばないと新潟県域は理解できなかったからです。その後、東日本一帯の縄文・弥生時代を学ぶようになると、福島の考古学は東日本でも屈指の蓄積があることも知りました。まほろんが開館してからは､福島県内の発掘資料が多く収蔵されているので通って、たくさんの遺跡から出土した弥生土器を観察する機会を重ねました。

現在、私はおもに弥生時代研究を専門としており、西日本や東アジアも一所懸命学んでいますが、その研究方法の基礎は福島県の考古学を学ぶ中で培われたのだと思います。ですから、このたびの館長就任は、半世紀近くにもわたって受けた学恩に、その何十分の一かでも報いる機会をいただいたのだと考えます。

そうは言っても、私の力はあまりにも微力です。しかし、福島の歴史・文化を学ぶ拠点である<まほろん>には 20 年あまりの活動の歴史があり、それは全国的にも高く評価されています。その蓄積を身につけた充実したスタッフがおいでです。夏に開催された＜U － 15 の考古学>展を見学してそのことがよくわかりました。福島の歴史・文化の魅力を社会に発信するスタッフの皆さんに寄り添い、その喜びを分かち合いたいと思います。また、私自らも、遺跡から発掘された資料を通して福島の魅力をより多くの方々に知っていただくことに尽力したいと考えます。お力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

〇新館長就任講演会

みどころ紹介

令和４年度指定文化財展「ふくしまの上古刀（じょうことう）」

担当職員
副主幹　福田　秀生

福島県文化財センター白河館（まほろん）では、福島県が実施した発掘調査によって得られた数多くの出土品を収蔵しています。そのうち通常の保管では破損・崩壊してしまう恐れのある木質・金属質の出土品について、保存処理を施したうえで安定した温度・湿度で管理するために特別収蔵庫が設けられています。

本展示では、まほろんの特別収蔵庫に保管されている鉄刀を展示するとともに、ふくしまを代表する有力古墳から出土した刀や金や銀で装飾された華美な刀などの「名刀」を紹介します。鉄刀の意義に触れつつ、ふくしまの上古刀の魅力を感じていただければ幸いです。

写真１：渕の上１号墳出土頭椎大刀
（郡山市教育委員会所蔵）

写真２：笊内古墳群２６号横穴出土直刀　（当館収蔵）

写真３：稲古舘古墳出土銅漆作大刀
県指定重要文化財　（須賀川市立博物館所蔵）

令和４年度指定文化財展「ふくしまの上古刀」

期間：令和4年10月22日（土）～12月4日（日）
＊休館日：月曜日、11月24日（木）
時間：9：30～17：00
場所：福島県文化財センター白河館（まほろん）特別展示室

関連講演会１

開催日時：令和４年10月29日（土）
13:00～15:00
会　　場：福島県文化財センター白河館　講堂
講　　師：高橋信一（伊達市保原歴史文化資料館）
福田秀生（当館職員）
定　　員：40名（事前申込制・先着順）
参 加 費：無料

関連講演会２

開催日時：令和４年11月26日（土）
13:00～15:00
会　　場：福島県文化財センター白河館　講堂
講　　師：菊地芳朗（福島大学）
定　　員：40名（事前申込制・先着順）
参 加 費：無料

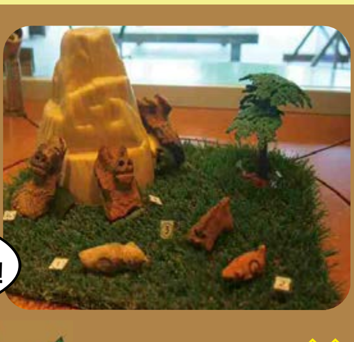
「あつまれ!縄文どうぶつの森」アンケート結果発表!!

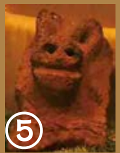
学芸員：青木愛子

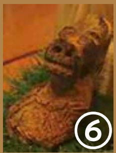
本年６～７月にプロムナードギャラリーにて展示した動物形土製品と獣面突起。「なにに見えるかな?」アンケートを設置しました。来館者の回答を発表します。

総回答数 72

アンケートご協力、ありがとうございました！







動物形土製品　①角間遺跡（磐梯町）
獣面突起　②③荒小路遺跡（郡山市）
④南倉沢遺跡（下郷町）
⑤⑥本町西Ａ遺跡（富岡町）

各どうぶつたちの回答数 No１

①ネズミ
②サカナ
③ウリボウ（イノシシ）
④ゴリラ
⑤ウサギ
⑥ウマ

おもしろい回答集

カエル、イヌ、サル、コアラ、チンパンジー、ライオン、シマウマ、アザラシ、ハリネズミ、ウシ、クマ、ブタ、モグラ、ムササビ、ラクダ、イタチ、アナグマ、タヌキ、リス、アルパカ、チョウ、トカゲ、カメレオン、チーター、ヒト、ワニ、魚、貝、石、バケモノ、ミイラ、ツチノコ、トリケラトプス

表紙の１枚

今年の夏休み、まほろん初の取り組みで、小学校低学年～中学生を対象とした「子ども考古学教室（土器／石器）」を実施しました。土器の拓本、石器の実測、黒曜石で肉を切る様子を見るなど、展示見学だけでは知ることのできないことを体験しました。参加者は考古学へ更なる興味関心を持ったようです。

まほろん公式SNS　随時更新中！

フォロー＆チャンネル登録お待ちしています！

YOU TUBE

INSTA GRAM

MAHORON_OFFICIAL

シリーズ まほろん おしごと紹介 Part2 総務

取材先：山田　幸則（白河館総務課長）
質問者：ロンくん

まほろん博士：「まほろん」ではたらく人々がどんなお仕事をしているか、実際にきいてみようというシリーズじゃ。

まほろんが大好きな小学６年生のロンくんが質問するぞ。今回は総務課の山田さんに話をきいてみたぞ。

ロンくん（小６）
白河市に住む。まほろんと歴史が大好き。

Q1 どんな仕事をしていますか？

いろいろな仕事があります。例えば、ロンくんがまほろんに来た時、最初に声をかけてくれる受付も総務課の仕事です。

どこから来られたのかを記入してもらったり、今だと検温や消毒のお願いをしたりするのも大事な仕事です。

その他には、まほろんに安心してきてもらえるように、故障しているところがないかを点検したり修理したりする施設の管理の仕事も大切です。

受付の様子

Q2 施設管理で大変なところはありますか？

いつどこが故障するかがわからないので、いつも備えておかなければなりません。そのため前もって壊れそうなところがないかを点検するのですが、最近は、地震や雷、大雨といった自然の災害も多く、これらに備えることもとても重要になっています。

空調機　点検の様子

Q3 まほろんの好きなところ、おすすめポイントを教えてください。

まほろんの屋外の景色が、好きなところです。季節によって花や木がいろいろな表情を見せてくれますし、鳥や虫の声も聞こえてきます。

まほろんに来たときは、屋内の見学とともに野外の展示物も見学して自然を感じてほしいなと思います。

お越しをお待ちしております

まほろん博士：次回は勾玉や月替わりメニューをその場で作れる、体験活動室スタッフのお仕事紹介じゃ。

ロンくん：ぼく、毎月の活動室メニューが楽しみなんです。今年は活動室メニューの 12 カ月コンプリートを目指しています!

いつもとちょっと違うまほろん

まほろん感謝デー・移動水族館アクアラバン

11月５・６日

- ・アクアマリンふくしま（いわき市）からお魚たちが来る!（タッチングプール体験無料）
- ・体験活動室メニュー　など各種取り揃えています
- ・クイズラリーに参加すると景品がもらえるよ!
- ・もみぎりチャレンジ

…など、ほかにもあるよ!

受賞者発表 12/10

まほろんぬりえコンクール

ぬりえコンクールに応募された作品の中から、来館者にお気に入りの作品を選び、館内設置の投票箱へ投票してもらいます。投票数の多い作品は最優秀賞として表彰。その他に優秀賞や館長賞の作品については 12 月末まで館内展示します。受賞作品は「まほろん通信冬号（令和５年１月25日発行）」にて作品を掲載予定です。

ぜひご来館時に作品をご覧いただくと共に投票をお願いします。

まほろんの今後の主な予定

※各講座・講演会は事前申込制です。
※新型コロナウイルス感染拡大状況等により予定が変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ頂くか、まほろんのホームページをご覧ください。

10/22（土）～ 12/4（日）
　令和４年度指定文化財展「ふくしまの上古刀」
10/23（日）まほろん森の塾（４回目）
10/29（土）「ふくしまの上古刀」関連講演会１
　定員 40 名　9/29（木）午前 10 時から申込受付開始
11/12（土）実技講座「ガラス玉づくり実験①」
　定員５名　10/12（水）午前 10 時から申込受付開始
11/26（土）「ふくしまの上古刀」関連講演会２
　定員 40 名　9/29（木）午前 10 時から申込受付開始
11/27（日）まほろん森の塾（５回目）
12/4（日）館長講演会「国宝『漢委奴国王』金印の考古学」
　場所：とうほう・みんなの文化センター
　時間：13：30 ～
　申込方法：往復はがき・FAX
12/10（土）実技講座「ガラス玉づくり実験②」
1/21（土）～ 3/21（火）
　企画展「古代ふくしまの開発―矢吹が原を中心に―」
1/21（土）～ 25（水）実技講座「土師器づくり」

編集後記

9月に福島県内の学校へ通学もしくは福島県出身の大学生を対象とした博物館実習を行いました。通常業務に加え、展示のテーマ決めから展示作業まで実習生自らが行う展示実習を実施しました。その成果を常設展示室にて「会津盆地の遺跡から読み解く地域間交流」と題して展示中です。来館時には実習生たちの展示をぜひご覧ください。

まほろん通信
vol.85
令和４年 10 月 19 日発行

開館時間　9:30 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）
休館日　月曜日（祝日・休日の場合を除く）、11/24・1/10
　年末年始（12/28 ～ 1/4）
入館料　無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）

お問い合わせ
まほろん
福島県文化財センター●白河館
〒 961-0835　福島県白河市白坂一里段 86
☎　0248-21-0700
fax 0248-21-1075
ホームページ　まほろん　検索